

ライフサポート：はた

幹事会での「学習会」のご報告 (皆さんの、ご参加をお待ちしています！)

N046 : 2017. 12. 20

四万十市中村大橋通 7 丁目 1-24
連合高知西地協内 TEL:34-9191
発行責任者：事務局 伊達幸雄

色々な組織やクラブに参加している方も多いと思いますが、何か面白い話や、イベントの広報などがあればお知らせ下さい。皆さんからの、投稿をお待ちしています。

< 9 月 6 日 (水) 10 : 00 ~ > 西地協会議室

講演：「四国労金の取り組みについて」

講師：中村支店長代理 山中伸俊さん



まず、労金の社会貢献活動について下記のとおり話がありました。

- 社会貢献活動をしている N P O 法人や生活協同組合に対し、2016 年度は 24 団体に 384 万の助成を行った。
- ピンクリボン活動への取り組みとして、A T M 利用時に一回 1 円のカウントで、2016 年度は 97 万円を日本がん協会に寄付を行った。

(ピンクリボン運動：乳がんの正しい知識を広め、乳がん検診の早期受診を推進することなどを目的として行われる、世界規模の啓発キャンペーン活動。)

- 通年の活動としては、生活応援運動として、各職場で各個人に適した金融商品の提案や、バブル期の高金利による債務・多重債務への取り組み。

次に、労金の経営状況についての話があり、預金については十分達成されているが、貸出目標についてはマイナス金利の影響も有り苦戦している。

現在、新店舗の工事が行われておりご迷惑をおかけしていますが、工事は順調に進んでおり、来年 2 月には完成予定で、3 月には引っ越せる予定とのことです。

講演：「全労済の取り組みについて」

講師：中村支所長 小野達也さん



全労済からは、全国組織としては今年が創立 60 周年を迎えること。現在、組織名が全労済高知県本部となっているが、この 9 月から全労済高知推進本部に変更されること。

そして、自賠責共済への取り組みについて、下記のとおり説明がありました。

全労済では、生命・医療・自動車等の保険を取り扱っているが、1997 年から自賠責保険（強制保険）についても取り扱っている。自賠責についてはどこで入っても同じ補償内容で、人身事故身ついでのみ対象となる。

《加入のメリット》

- ① 全労済マイカー共済と併せて加入することで情報が一元化され、万一の時の事務処理関係がスムーズになります。
- ② 万一の時の受付が 365 日 24 時間可能です。
- ③ その他として、収支の改善に伴う共済掛金の引き下げや、サービスの向上・交通安全教室の推進等・・・などがあるので、是非周りの方にも声掛けをお願いします。・・・とのことでした。

< 10月2日（水）10：00～>西地協会議室

「奨学金制度の問題点」

講師：四万十市議会議員 宮本博行さん



宮本市議は、来年4月の任期満了で引退予定のため、政治の世界に入ったきっかけや、これまでの議員生活のなかでの思いなどを含めての話がありました。

昔は、西南病院など大きな施設の空調関係ではボイラーを使用していたため、その管理を行う人員が必要であったが、機器類の発達と合理化に伴い職場が縮小されてきた。その時期ちょうど組織内市議（県職労）の交代の話があり、思い切って飛び込んだ。

議員生活としては20年と半年ぐらいになるが、この間色々あったが、最も記憶に残っている取り組みとしては、「開かれた議会」・「民主的な議会」に向けた取り組みがある。

当時は議会のドンの存在が2～3人おり、議長選についてもどこで決まったのかわからない状況であったため、これではだめだということで平成22年頃から議会基本条例の制定に着手し、2年間の議論を行った上で平成26年にやっと決議された。

その他、倫理条例も策定し、市民との懇談会を四万十市内16か所で実施していることや、最近の市議会の活動についての報告もありました。

四万十市の奨学金制度については、現在、西土佐において個人の寄付による基金で高校・大学を対象とした無利子の制度がある。国もやっと、この問題に取り組もうとしているが、貸与型などの対象範囲が狭く問題がある。

四万十市としての対応については、12月議会で検討するとの答弁を引き出しているが、引き続き取り組んでいく必要がある。・・・とのことでした。

・・・21年間お疲れ様でした。

< 11月1日（水）10：00～>西地協会議室

「労福協運動について」

講師：全労済高知県推進本部長 山崎秀一さん



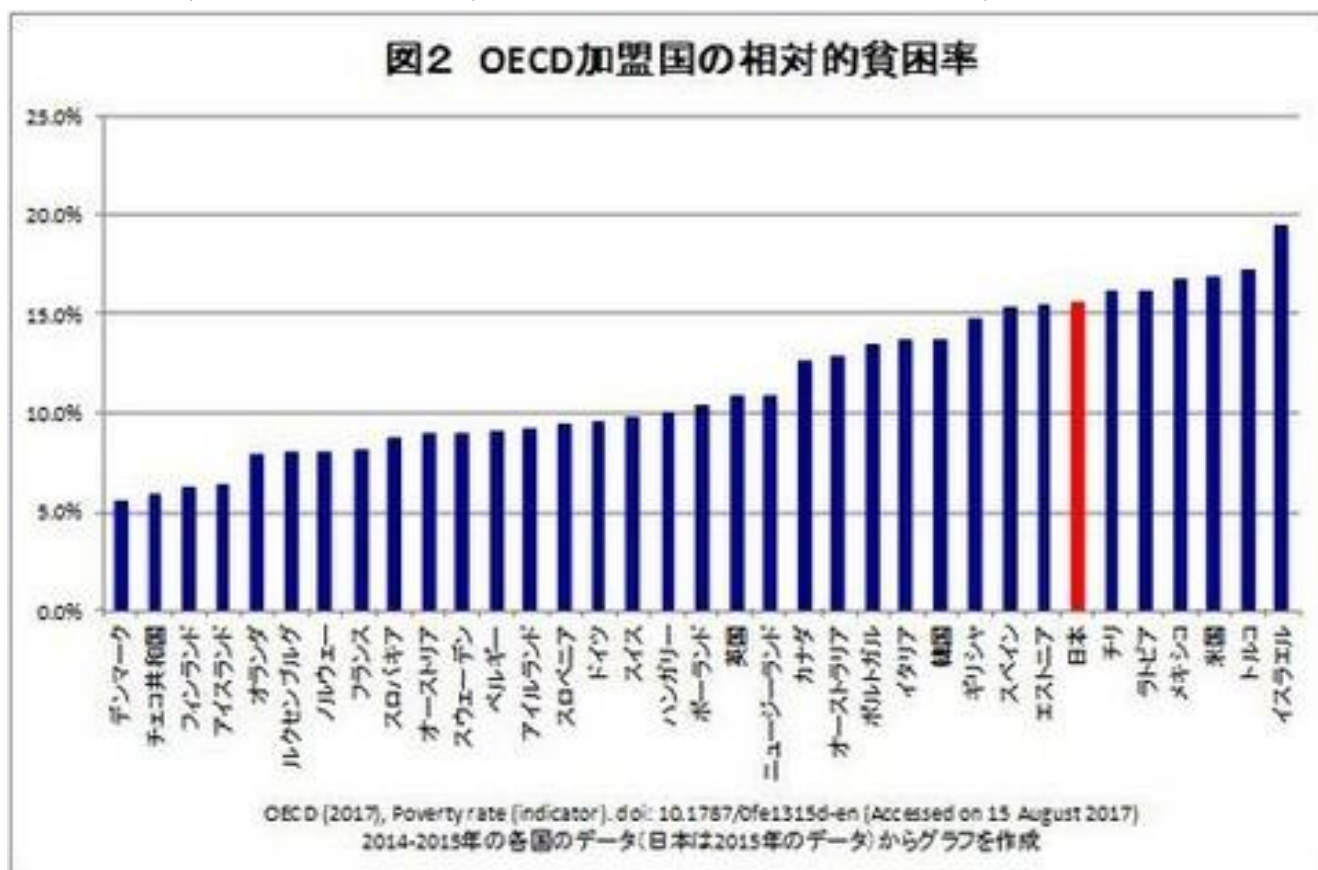
通常私たちは、労働者福祉運動と言えば労金・労済のことを思い浮かべると思うが、高知県労福協の定款には以下のように書いている。

第3条 この法人は、労働者及びその家族の生活向上を図り、真に平和で豊かな暮らしを保障する社会を作ることの基本理念とし、高知県下におけるすべての労働者の福祉活動を総合的に推進し、労働者の経済的、社会的な地位の向上に寄与することを目的とする。

歴史的には、戦後すぐの1950年代に出来ており、当時の労働者は賃金も低く銀行がお金を貸してくれず、保険は掛け金が高くて入れない状況であった。こういった状況から、労働者自主福祉運動としてスタートしている。

全国労福協の今年度の方針は、「社会的連帯を深める運動と政策の実現」「暮らしの総合支援（ライフサポート事業）の深化」「労働者自主福祉事業団体の機能を発揮するための基盤強化（労金・労済等）」を掲げている。

一方、私たちの社会状況はというと、相対的貧困率（所得分布の中央値を基準に見て、その半分未満の所得の方）が16%を超えておりOECDの中でも下位（図2）である。・・・格差社会が拡大している。



また、労働組合の加入率についても17%を切っており、正規社員でも退職金も無く、定期昇給も無いような雇用形態が存在する。こういった状況の中で、我々労働組合に属する者だけで労働者自主福祉活動を行っていて良いのだろうかという問題がある。

こういった社会状況を背景に、社会的連帯を深めるための運動の一つとして、生活困窮者自立支援制度や奨学金問題、生活保護制度の問題などを中心とした公助の充実・改善を求める運動を展開している。その他、地域での人と人との結びつき強化のための居場所、拠所機能の充実。労金・労済などの共助を拡大させるため労組に加盟していない労働者へ拡大させる運動も行っている。

高知県の労福協の活動としては、

- ① 社会的連帯活動として、「エコキャップ運動」「給付型奨学金制度の確立」「子ども食堂への支援」
- ② ライフサポート事業として、「なんでも相談事業」「確定申告相談」「各種研修会」「労働安全衛生活動（労働安全衛生センターとの連携）」
- ③ 労働者自主福祉運動として、「労金・労済の利用への呼びかけ」などの活動を行っている。

労福運動発展への課題としては、特に③の利用呼びかけへの取り組みが弱いため、代表委員へ数値目標を決めてお願いをしている。とりわけ、自賠責とマイカー共済の推進を目標にしているのでご協力をお願いします。

・・・みんなで頑張りましょう！・・・



< 12月5日(火) 15:00~ > 四万十市中央公民館
「防災について」

講師： 四万十市防災士会 会長 松田 久義 さん



今回の学習会は、高退連幡多地区協議会の総会が12月5日に行われることに合わせて行い、講演内容は具体的事例に伴い大変解りやすい内容で「な・る・ほ・ど」の連続でした。

私は、県の土木事務所に勤務していた関係もあり、以前から防災について関心があったため、防災に関する様々な講師の方のお話を聞かせていただきました。また、5年ほど前から地区の自主防災組織の会長をお引き受けすることになり、学校関係や行政、地域の方と触れ合う機会も増えました。

そうした中で、現在行われている防災訓練や様々な防災への備えに対して疑問が生じたため、私なりの考えを話させていただきます。

① 蕨岡小学校の防災訓練について

まず、一点目は校庭の電柱の傍を避難場所としていますが、外に出ることが必ずしも安全とは限りません。学校は新しく耐震設計されており、まず学校でどこが安全なのかを知り、備品を固定することなどにより危険を取り除き安全対策と取ることが大切だと考えます。

もう一点目は、一元的な避難訓練です。「地震」⇒「机の下」⇒「校庭に避難」という訓練の繰り返しになにも疑問を持たず、全員が行動していることです。これでは、廊下にいる子供が教室に戻って、机の下にもぐる生徒が出てきます。

今いる場所では、どう行動をとるのが最良かを教え、自立性を含め防災教育に生かす必要を感じます。

② 蕨岡保育園から依頼を受けて

園長先生からの依頼で訪問すると、一番目についたのが、園児がいつも集まる場所にあったピアノでした。地震時には大きな凶器になる恐れがあるため即座に固定することを勧めるとともに、園児の集まる場所には出来るだけ物を置かず、必要なものは固定するよう勧めました。また、避難場所が3m程度のコンクリートブロック擁壁の傍ということだったので、出来るだけ構造物の無い場所を勧めました。

③ 個別訪問指導について

3年間で40~50件程の家具の固定を行ってきましたが、各家庭で防災への対応の仕方が違うため、各家庭に合った防災について話し合うことが出来たことが、大きなメリットだったと考えています。

大変な作業ではありますが、防災で大切なのは、一律の訓練や備えではなく、地域を知り地域に合った防災訓練や避難訓練が必要だと感じています。また、それぞれの家庭で状況が違うため、どのような備えが必要か個別に考える必要があります。

今後は、四万十市防災士会会員の皆さんが、それぞれの地区で自主的に行動して頂けるよう、出来るだけ早く体制を整えて行きたいと考えていますので、ご協力を宜しくお願いいたします。

災害を乗り切れるかどうかは

貴方の備えしだいです。



「第11回 幡多ライフサポートセンター・ろうきん チャリティーゴルフコンペ」開催される！！

上記ゴルフコンペは10月14日（土）絶好の秋空のもと、
四万十カントリークラブに於いて139名もの参加を頂き
開催されました。



開会式は、今倉スポ・レク部長の司令で、主催者を代表し横田会長・今城ろうきん中村支店長より挨拶を行い、特にライフサポートセンターとしては、衆議院選の最中であるが、今回こそ私たち働く者の立場に立った人を政治の場へ押し上げようとの中身と、今回のコンペは二年に一度の高知県下ろうきん各支店対抗ゴルフ大会の予選も兼ねており、皆さんの健闘を期待する挨拶がされました。

チャリティーの贈呈は、横田会長より宿毛市社会福祉協議会の大塚会長に全員の拍手のもと直接手渡され、最後に記念撮影をし、いよいよ各々がアウト・インコースに別れスタートをきりました。



プレーは各自それぞれで、天候には恵まれたものの、思うようにならぬ人・砂場に再三苦しめられる人・打つ毎に「ナイスショット」と褒められる人など、楽しい交友の時間は過ぎていきました。

最後の表彰・閉会式は、山本源次幹事の司令で進められ、今回は飛び賞を多くしたこともあり、多数の方に商品が手渡され、大いに盛り上がった中で無事に終了することが出来ました。

最後に、協賛いただいた「幡多地区労福協」「連合高知西地協」「全労済」「中村クリニック」に対しまして、心より感謝申し上げます。

幡多地区労働者福祉協議会 会長 今倉傳男



2017セラピーウォークを楽しみました！！

恒例となった「セラピーウォーク」も、昨年は高知組と合同開催で梶原町松原の久保谷セラピーロードを歩きましたが、今年は、高知組は馬路村へ、幡多組は天狗高原へと分かれての企画となりました。

日頃の行いが良い？のか、高知組は雨でしたが、幡多組は11月4日(土)秋日和の快晴のなか、37名の参加で天狗高原「天空の爽回廊」を楽しんできました。

天狗高原には11時過ぎ到着、準備運動と弁当を受けとり2班に分かれてウォーキングです。

天狗の森(1,485m)へ上がって周回する「健脚堪能コース」に17名、もう1班は1時間程のなだらかな歩道をユッタリと歩く「楽勝お気軽コース」へ20名と適度な分散で歩きました。歩き始めてすぐに引き返した方も居ましたが、皆さん森のパワーをもらい、日頃のストレスは全て発散してきたものと思っています。

やはり好評は、竹編みの籠にアメゴや山菜の入った1,000円のセラピー弁当でした。



帰りのバスでは、ビールやお菓子も提供され、和気ワイワイのなか17時前には中村に帰着し、道の駅で買った土産物を手に家路に着きました。

この行事も定着してきたのか、募集を始めて数日間で予約オーバーとなりキャンセル待ちの状態でした。来年も予定していますので、この「幡多ライフ会報」を必読書にして、出来るだけ早く申し込んで下さい。

幡多ライフサポートセンター 幹事 幾久利典



1～2月の予定

幡多ライフ学習会

- ≪1月10日(水)≫ 10:00～ 場所: 連合高知西地域協議会
「新年の詩吟」
≪2月7日(水)≫ 10:00～ 場所: 連合高知西地域協議会
「介護保険の実務について」

確定申告学習会

- ≪2月5日(月)≫ 13:00～ 場所: 連合西地協 対象: 県退職者会
≪2月6日(火)≫ 時間: 未定 場所: 未定 対象: 清水地区
≪2月7日(水)≫ 時間: 午前・午後 場所: 連合西地協
対象: ろうきん友の会、JP、県交通
≪2月8日(木)≫ 時間: 未定 場所: 未定 対象: 宿毛市

忘れ物のお知らせ

11月4日のセラピーウォークで、
バスに忘れていたそうです。
連合で保管しています。



一年間大変お世話に
なりました。

来年もよろしくお
願いいたします。

幡多ライフサポートセンター役員一同